

《構内・バック事故の根絶》 見る・待つ・止まる 構内における 三原則

●いつもの場所でも、周囲の状況はいつもと違うかも？

○慣れた場所であっても、周囲の状況を必ず目視確認！

いつもは何もない場所に…

たまたま、今日は荷物が置いてあったり、車が止まっているかも知れない

●バックで進入する場所は、事前に自分の目によく見る！

○不可能な場所を除き、目視で確認していない場所へ、バック進入しない！

トラックの真後ろは見えません

進む先に、ぶつかる物がないのか、事前に視ておく必要があります

●作業終了後、運転席に乗り込む前に、自車の状況を確認する！

ユニック・ダンプ・ウイングなど…

格納を忘れたまま発進し、電線やシャッターへの衝突事故が多い

車の姿を見てから、運転席に乗り込む

発進する前に、ミラーを確認(アンダーミラーも)、自車の周囲の確認を！

★構内での事故は、高額賠償の可能性！ あせらずしっかり確認する！

漫然運転、居眠りに注意しましょう **2時間走行15分休憩**！

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

午前7時 通勤時間帯の信号交差点

右折の乗用車と直進の軽乗用車が衝突

軽乗用車の男性が頸椎損傷の重傷

◇通勤、通学時間帯は、最も危険な時間帯！ スピード落として、細心の注意◇

◇黄色信号で交差点進入は、命取りになります 黄色信号は「止まれ」◇

◇交差点手前で、黄色信号の場合は、加速しないで停止する◇

2026/6/8(月) 17:14

8日午前7時5分ごろ、山形県の国道の信号交差点で、右折しようとした乗用車が直進してきた軽乗用車と衝突しました。この事故で、軽乗用車を運転していた男性(45)が頸椎を損傷する重傷を負いました。乗用車を運転していた会社員の男性(59)にけがはありませんでした。警察が事故の原因を調べています。

午前10時 片側1車線の国道のカーブ

軽乗用車と乗用車が正面衝突

軽乗用車の会社員、死亡

軽乗用車が対向車線にはみ出し？

◇デイ・ライトで知らせよう…自分の存在 はみ出し、正面衝突事故防止◇

◇『カーブ』の手前は…十分に、「スピード」を落として走行しましょう◇

2026/6/8(月) 17:11

7日午前10時過ぎ、高知県の国道で軽乗用車と対向車線を走っていた乗用車が正面衝突しました。この事故で軽乗用車を運転していた会社員(65)が全身を強く打ち、病院で手当を受けていましたが、およそ10時間後に死亡しました。現場は片側1車線のカーブで、警察は軽乗用車が対向車線にはみ出したとみて、乗用車を運転していた30代の男性に話を聞くなどして、事故の詳しい原因を調べています。

午前10時

片側3車線のゆるやかなカーブが続く道路

小型トラックが車線変更、クレーン車と接触

クレーン車にはじき飛ばされ、対向車と衝突

小型トラックの男性、骨折の重傷

◇急な車線変更は事故に直結！ 無理な追い越し 生命の危険！◇

2026/6/8(月) 13:58

8日午前10時ごろ、神奈川県環状線を直進していた小型トラックが車線変更した際に左側の車線を走っていたクレーン車と衝突し、そのはずみで対向車線を走っていた乗用車と衝突したということです。この事故で、トラックの男性運転手(24)が足の骨を折る重傷、乗用車の男性(57)が胸の痛みを訴え、いずれも病院に運ばれましたが、意識はあるということです。現場は片側3車線のゆるやかなカーブが続く道路です。